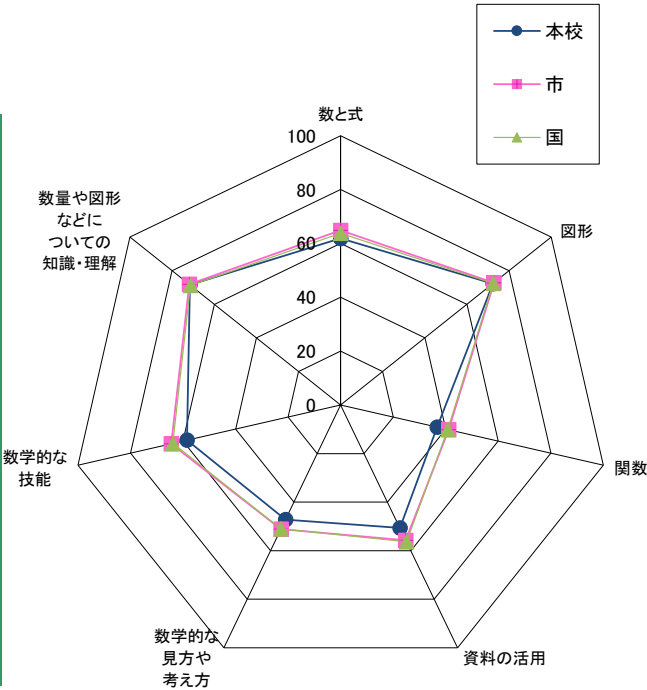


宇都宮市立陽南中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【数学】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	61.9	64.9	63.8
	図形	72.3	72.8	72.4
	関数	36.7	41.1	40.8
	資料の活用	50.6	55.7	56.3
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	47.2	51.1	51.0
	数学的な技能	58.5	64.5	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	71.6	71.9	71.3



★指導の工夫と改善

○ 良好な状況が見られるもの ● 課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	● 平均正答率が、全国平均を1.9ポイント下回っている。 ○ 四則計算の問題では、全国平均を1.4ポイント上回っている。 ● 連立二元一次方程式の問題では、全国平均を4.6ポイント下回っている。	・基礎的な計算の技能が身に付いていない生徒が多数見受けられるので、授業のスタートの計算演習を継続していくとともに、1、2年次の復習を意識して取り入れ、基礎的な技能の習得を図る。
図形	平均正答率が、全国平均とほぼ同じである。 ○ 反例の理解については、全国平均を2.0ポイント上回っている。 ● 三角形の合同条件の理解においては、全国平均を0.4ポイント下回っている。 ● 平行移動の距離を求める問題では、全国平均を1.4ポイント下回っている。	・図形の論証については、苦手意識が高いので、基本的な問題から段階的に指導し、理解を深められるように指導する。 ・PCやTVを利用し、図形を視覚的に捉えさせるよう授業の改善を図る。 ・解答のみならず途中の考え方を大切に扱い、自分の考えをまとめたり、発表したりすることを通して、論証の無回答をなくすよう努める。
関数	● 平均正答率が、全国平均を4.1ポイント下回っている。 座標の意味の理解においては、全国平均とほぼ同じである。 ● 反比例の表から式を求める問題では、全国平均を5.3ポイント下回っている。 ● 事象を数学的に解釈し、式やグラフの関係に考える問題では、全国平均を6.7ポイント下回っている。	・関数については、常に表と式とグラフを関連づけて考えることを指導し、確実に習得させる。 ・比例と一次関数、一次関数と2乗に比例する関数との関連を図り、実生活に関わる例題を取り上げることで、関数の有用性を感じさせ、理解を促すよう指導する。
資料の活用	● 平均正答率が、全国平均を5.7ポイント下回っている。 最頻値を読み取る問題では、全国平均とほぼ同じである。 ● ヒストグラムの特徴を説明する問題では、全国平均を9.0ポイント下回っている。 ● 問題解決のためにどの代表値かを選択する問題では、全国平均を7.0ポイント下回っている。 ● 確率の意味や確率も求める問題では、全国平均を6.5ポイント下回っている。	・資料の傾向を捉え、理由を的確に説明できるよう、普段の授業から言語活動を意識して取り入れ、自分の考えを発表できるよう指導の充実を図る。 ・確率を求めることについては、計算だけでなく、その意味を理解できるよう丁寧に指導し、確実に習得させる。